



朝青龍が引退

泥酔暴行で引責か

理事会聴取後に表明

大相撲初場所中に知人男性に暴行したとされる横綱朝青龍関(29) 〓 本名 ドルゴルスレン・ダグワドルジ、モンゴル出身、高砂部屋 〓 が4日、現役引退することを表明し、師匠の高砂親方(元大関朝潮)とともに理事会に呼び出された朝青龍関は事情聴取後、「いろいろお世話になりました。引退します」と話した。



日本相撲協会の理事会への召喚を終えた横綱朝青龍関
= 4日午後1時38分、東京・両国国技館

朝青龍関は1月16日未明、泥酔して知人の男性に暴力をふるったとされる。当初、相手は朝青龍関の個人マネジャーとされ、相撲協会の武蔵川理事長(元横綱三重ノ海)から嚴重注意を受けたが、後に別の一般人男性が警察に被害相談をしていたことが判明した。協会は調査委員会を設置して独自に関係者を聴取。4日の理事会は当初は同委員会の中間報告だけの予定だったが、急きょ横綱本人と師匠を呼び出し事情を聴いた。

モンゴル力士で初めて横綱になり、幕内優勝25度は史上3位。2007年には巡業を休んでモンゴルでサッカーに興じ、出場停止処分となるなど問題行動も多かった。